

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 2000293702
PUBLICATION DATE : 20-10-00

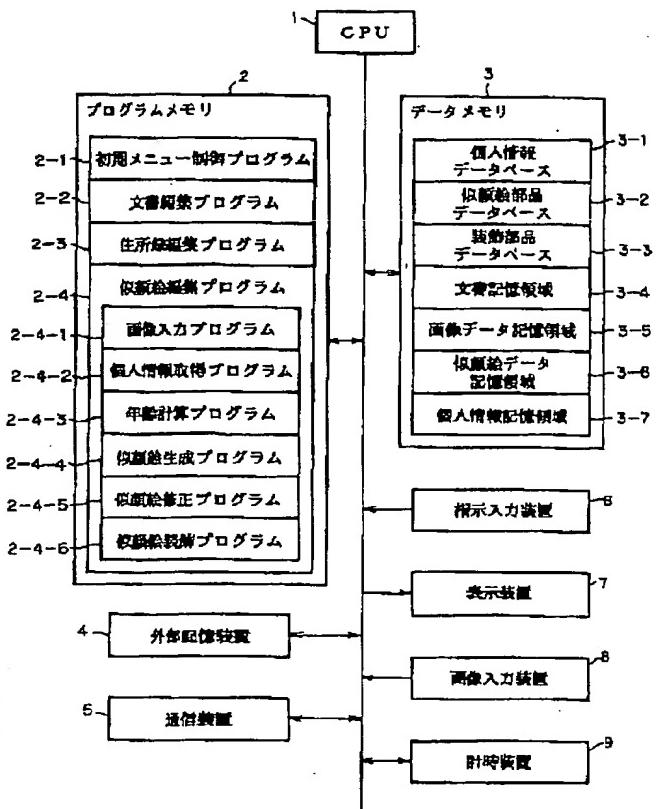
APPLICATION DATE : 06-04-99
APPLICATION NUMBER : 11098701

APPLICANT : SHARP CORP;

INVENTOR : WATABE TADASU;

INT.CL. : G06T 11/80 G06F 3/00 G06F 17/30
G06T 1/00

TITLE : DEVICE AND METHOD FOR
PREPARING PORTRAIT AND
STORAGE MEDIUM WITH PROGRAM
FOR EXECUTING METHOD
RECORDED THEREON



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To easily prepare a portrait being similar to a desired person by preparing the portrait of the person on the basis of image recognition, the selection of portrait parts and retrieved personal information.

SOLUTION: A personal information selection dialog box is displayed on a portrait editing picture on the basis of a personal information acquisition program 2-4-2, and an instruction input device 6 selects one desired person. Next, an age is calculated from data of birth data stored in a personal information storage area 3-7 and a date of a clocking device 9 on the basis of an age calculation program 2-4-3. Next, image data stored in an image data storage area 3-5, individual data stored in an individual information storage area 3-7 and an appropriate portrait part data are selected from a portrait part database 3-2 by referring to the calculated age on the basis of a portrait generation program 2-4-4, and portrait data is generated by sticking them to appropriate positions.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-293702
(P2000-293702A)

(43) 公開日 平成12年10月20日 (2000. 10. 20)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード (参考)
G 06 T 11/80		G 06 F 15/62	3 2 2 M 5 B 0 5 0
G 06 F 3/00	6 5 1	3/00	6 5 1 B 5 B 0 5 7
	17/30	15/40	3 7 0 B 5 B 0 7 5
G 06 T 1/00		15/403	3 1 0 B 5 E 5 0 1
		15/66	B

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願平11-98701

(22) 出願日 平成11年4月6日 (1999. 4. 6)

(71) 出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72) 発明者 片岡 可人

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ
ヤープ株式会社内

(72) 発明者 正田 博之

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ
ヤープ株式会社内

(74) 代理人 100079843

弁理士 高野 明近

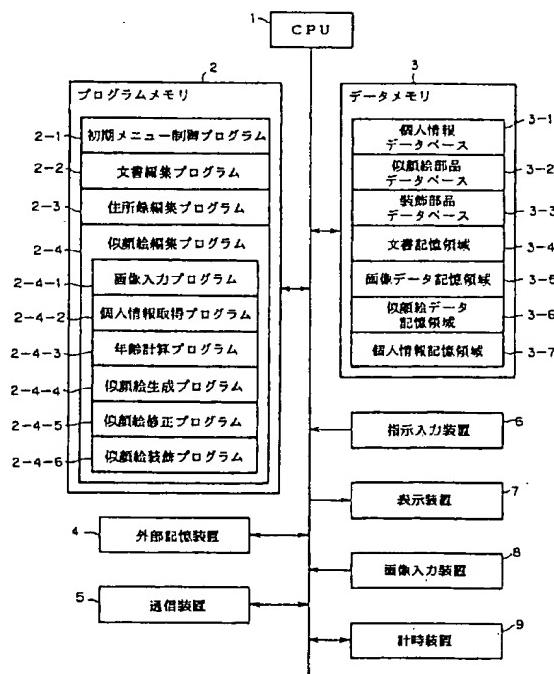
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 似顔絵作成装置、似顔絵作成方法及び該方法を実行するためのプログラムを記録した記憶媒体

(57) 【要約】

【目的】 住所録等、他のアプリケーションから似顔絵を作成すべき人物の年齢、性別、身長、体重等の情報を入手し、より簡単に所望の人物の似顔絵を作成する。

【構成】 似顔絵作成手段は、画像の認識及び似顔絵部品の選択により似顔絵を作成する似顔絵作成手段と、作成すべき人物の個人情報を住所録等、他のアプリケーションのデータベースから検索する検索手段とを備えている。似顔絵作成手段は、他のアプリケーションのデータベースを検索し、所望の人物の年齢、性別、身長、体重等の個人情報を入手し、この個人情報に基づいて、画像の認識及び似顔絵部品の選択により似顔絵を作成する。個人情報として、他のアプリケーションで既に入力されているデータを使用するので、似顔絵作成時に入力する必要がない。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像の認識及び似顔絵部品の選択により似顔絵を作成する似顔絵作成手段と、似顔絵を作成すべき人物の個人情報をデータベースから検索する検索手段とを備え、前記似顔絵作成手段は、画像の認識、似顔絵部品の選択及び前記検索された個人情報に基づいて、前記人物の似顔絵を作成することを特徴とする似顔絵作成装置。

【請求項2】 請求項1に記載の似顔絵作成装置において、

前記個人情報は年齢、性別、身長、体重のいずれかまたは全てであることを特徴とする似顔絵作成装置。

【請求項3】 請求項1または2に記載の似顔絵作成装置において、

前記作成された似顔絵を表示する表示手段と、個人情報の各値を変更する変更手段とを備え、前記似顔絵作成手段は、前記変更された個人情報に基づいて、前記作成された似顔絵を修正し、前記表示手段は前記修正された似顔絵を表示することを特徴とする似顔絵作成装置。

【請求項4】 画像の認識及び似顔絵部品の選択により似顔絵を作成する似顔絵作成手段と、

日時情報を入力する日時入力手段とを備え、前記似顔絵作成手段は、入力された日時情報に基づいて、似顔絵を作成すべき人物の似顔絵を作成することを特徴とする似顔絵作成装置。

【請求項5】 似顔絵を作成すべき人物の個人情報をデータベースから検索するステップと、

前記検索された個人情報に基づいて、画像の認識及び似顔絵部品の選択により似顔絵を作成するステップとを有することを特徴とする似顔絵作成方法。

【請求項6】 似顔絵部品データと、似顔絵を作成すべき人物の個人情報をデータベースから検索するプログラムと、前記検索された個人情報に基づいて、画像の認識及び似顔絵部品の選択により似顔絵を作成するプログラムとを記録していることを特徴としたコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、パソコンやワープロ等において、予め登録されている似顔絵部品より所望する人物の似顔絵を作成する似顔絵作成装置に関し、さらに詳しくは、住所録等のデータベースから年齢、性別等の情報を入手することにより、似顔絵を作成する際のパラメータの設定と似顔絵部品の選定を自動化した似顔絵作成装置に関する。また、似顔絵作成方法及び該似顔絵作成方法を実現するためのプログラムを記録した記憶媒体に関する。

【0002】

【從来の技術】從来、似顔絵作成装置として、予め記憶装置に人物の輪郭、髪、目、鼻等任意の部分をそれぞれ複数のパターンとして記憶しておき、それらを組み合わせて似顔絵を電子的に作成するものが知られており、例えば、特開平7-239945号公報、特開平6-187410号公報、特開平10-240919号公報に記載されたものがある。特開平7-239945号公報は、輪郭、目、鼻等の顔のパーツ（部品）を複数のパターンで持ち、パターン毎に任意のパターンを選択し、組み合わせて似顔絵を作成する装置であって、年齢、性別というパラメータを持たせることにより、より本人に近い似顔絵を作成する構成である。年齢、性別に応じて、輪郭、目、鼻等のパーツの位置を調整したり、年齢に応じて「しわ」を増やしたり、「笑う」、「怒る」等の人の感情のパラメータに応じて、目、鼻等のパーツを入れ換えることが可能である。

【0003】特開平6-187410号公報は、スキヤナ等の画像入力装置を使用して、写真等から画像を入力し、目、鼻等の位置を抽出し、予め登録されている顔のパーツ（部品）から類似するものを選択し、組み合わせることにより、似顔絵を作成する構成である。

【0004】特開平10-240919号公報は、特開平6-187410号公報の構成を用いて似顔絵を作成するが、表情や各パーツの大きさ等の特定のルールに基づく情報が格納されたデータベースを持つことにより、作成した画像をさらに変形できる構成である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】從来の似顔絵作成装置において、特開平7-239945号公報の似顔絵作成装置は、より近い似顔絵を作成するために、性別、年齢等のパラメータを入力する必要があった。特開平6-187410号公報の似顔絵作成装置は、画像入力装置を使用することにより、より簡単に似顔絵を作成できるが、年齢等のパラメータによる各パーツの修正をすることはできなかった。特開平10-240919号公報の似顔絵作成装置は、表情や各パーツの大きさなどのデータベースを持ち、それを使用することにより、作成した似顔絵を変形可能であったが、年齢等のパラメータによる各パーツの修正をすることはできなかった。

【0006】本発明は、上記従来例の課題を解決するためのものであり、所望する人物に近い似顔絵を簡単に作成することができる似顔絵作成装置を提供することを目的とし、住所録等他のアプリケーションより、所望する人物の年齢、性別等の情報を入手し、より簡単に所望する人物の似顔絵を作成することを目的とする。また、本発明は、年齢のパラメータの変更（十歳／一年齢）により、「しわ」の増減、「白髪」の増減または「髪の生え際」の後退により、所望の人物に近い似顔絵を作成することを目的とする。さらに、本発明は季節（春夏秋冬）及びイベント（正月／クリスマス等）の指定によ

り、服装（体のパーツ）の変更可能な似顔絵を作成することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、画像の認識及び似顔絵部品の選択により似顔絵を作成する似顔絵作成手段と、似顔絵を作成すべき人物の個人情報をデータベースから検索する検索手段とを備え、前記似顔絵作成手段は、画像の認識、似顔絵部品の選択及び前記検索された個人情報に基づいて、前記人物の似顔絵を作成することを特徴とする似顔絵作成装置に関する。10

【0008】請求項2の発明は、請求項1に記載の似顔絵作成装置において、前記個人情報は年齢、性別、身長、体重のいずれかまたは全てであることを特徴とする似顔絵作成装置に関する。

【0009】請求項3の発明は、請求項1または2に記載の似顔絵作成装置において、前記作成された似顔絵を表示する表示手段と、個人情報の各値を変更する変更手段とを備え、前記似顔絵作成手段は、前記変更された個人情報に基づいて、前記作成された似顔絵を修正し、前記表示手段は前記修正された似顔絵を表示することを特徴とする似顔絵作成装置に関する。

【0010】請求項4の発明は、画像の認識及び似顔絵部品の選択により似顔絵を作成する似顔絵作成手段と、日時情報を入力する日時入力手段とを備え、前記似顔絵作成手段は、入力された日時情報に基づいて、似顔絵を作成すべき人物の似顔絵を作成することを特徴とする似顔絵作成装置に関する。

【0011】請求項5の発明は、似顔絵を作成すべき人物の個人情報をデータベースから検索するステップと、前記検索された個人情報に基づいて、画像の認識及び似顔絵部品の選択により似顔絵を作成するステップとを有することを特徴とする似顔絵作成方法に関する。

【0012】請求項6の発明は、似顔絵部品データと、似顔絵を作成すべき人物の個人情報をデータベースから検索するプログラムと、前記検索された個人情報に基づいて、画像の認識及び似顔絵部品の選択により似顔絵を作成するプログラムとを記録していることを特徴としたコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に関する。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施例について図を参照して説明する。なお、本実施例ではワードプロセッサに似顔絵作成機能を組み込んでいる。図1はワードプロセッサの構成を示すブロック図である。1はワードプロセッサ全体の制御を行うCPU（中央制御装置）であり、プログラムメモリ2に記憶されている制御プログラムおよびデータメモリ3に記憶されているデータに基づいて動作する。

【0014】プログラムメモリ2には、外部記憶装置4または通信装置5から読み込まれた制御プログラムが記憶されている。その内容の詳細については後述する。デ

ータメモリ3には、外部記憶装置4または通信装置5から読み込まれたデータが記憶されており、またCPU1が制御プログラムを実行するために必要なデータ記憶領域が確保されている。その内容の詳細については後述する。

【0015】外部記憶装置4はCD-ROM装置やハードディスク装置等であり、CD-ROMやハードディスク等の記憶媒体に記憶されている情報を読み取ったり、記憶媒体に情報を書き込んだりすることができる。通信装置5はモデム等であり、通信回線を通じて他の情報処理装置と通信することができる。6は指示入力装置であり、例えばキーボードやマウス、表示一体型ペントップ等である。

【0016】7はCRTやLCD等の表示装置であり、文書や画像等を表示することができる。8はスキャナやビデオキャプチャ等の画像入力装置である。9は計時装置であり、現在の日付及び時刻を得ることができる。

【0017】前記プログラムメモリ2には、初期メニュー制御プログラム2-1、文書編集プログラム2-2、住所録編集プログラム2-3、似顔絵編集プログラム2-4が記憶されている。初期メニュー制御プログラム2-1は、ワードプロセッサの電源がオンされた直後に実行され、初期メニュー画面を表示装置7に表示し、また指示入力装置6からの指示に応じて対応するプログラムを起動する処理を行うプログラムである。

【0018】文書編集プログラム2-2は、文書データを指示入力装置6（キーボード）や外部記憶装置4、通信装置5から入力し、データメモリ3内の文書記憶領域3-4に記憶し、またその編集を行うためのプログラムである。住所録編集プログラム2-3は、個人情報（住所、氏名、生年月日、性別、身長、体重など）を指示入力装置6（キーボード）や外部記憶装置4、通信装置5から入力し、データメモリ3内の個人情報データベース3-1に記憶し、またその編集を行うためのプログラムである。

【0019】似顔絵編集プログラム2-4は、画像入力装置8から顔の画像を入力してデータメモリ3内の画像データ記憶領域3-5に記憶し、表示装置7に表示する画像入力プログラム2-4-1と、個人情報データベース3-1から個人情報の一部、例えば生年月日、性別を取得するための個人情報データ取得プログラム2-4-2と、取得した生年月日と計時装置9から得た現在の日付とから年齢を計算する年齢計算プログラム2-4-3と、データメモリ3内の画像データ記憶領域3-5に記憶された顔の画像と、計算して得られた年齢と、前記取得した性別と、似顔絵部品データベースに記憶されている情報とから似顔絵画像を生成し、表示装置7に表示する似顔絵生成プログラム2-4-4と、作成された似顔絵画像に対して修正を行なう似顔絵修正プログラム2-4-5と、作成された似顔絵画像に対して装飾部品の付加

を行う似顔絵装飾プログラム2-4-6等から構成されている。

【0020】データメモリ3は各個人の個人情報（住所、氏名、生年月日、性別、身長、体重など）を記憶している個人情報データベース3-1と、似顔絵を作成するための似顔絵部品（輪郭、髪型、目、鼻、口など）を記憶している似顔絵部品データベース3-2と、似顔絵に装飾を施すための装飾部品（服、帽子など）を記憶している装飾部品データベース3-3と、指示入力装置6、外部記憶装置4、通信装置5などから入力された文書データを記憶する文書記憶領域3-4と、画像入力装置8などから入力された画像データを記憶する画像データ記憶領域3-5と、作成された似顔絵データを記憶する似顔絵データ記憶領域3-6と、個人情報データベース3-1から選択された人の個人情報を記憶する個人情報記憶領域3-7等から構成されている。

【0021】図2は上記ワードプロセッサ装置の動作を示したメインフローチャートである。本実施例のワードプロセッサの電源がオンされると、まず表示装置7に図3に示すような初期メニュー画面101を表示する（S1）。初期メニュー画面101には、文書編集アイコン102、住所録編集アイコン103、似顔絵編集アイコン104、通信アイコン105、ファンクションキー表示領域106、現在の日付107等が表示される。

【0022】ここで文書編集アイコン102が指示入力装置6にて指示されると（S2）、文書編集プログラム2-2に基づいて文書編集処理を実行する（S3）。なお、文書編集処理については本発明の要旨に関係しないため説明は省略する。文書編集処理が終了した後は、初期メニュー画面表示処理（S1）へ戻る。

【0023】また、初期メニュー画面101において住所録編集アイコン103が指示入力装置6にて指示されると（S4）、住所録編集プログラム2-3に基づいて住所録編集処理を実行する（S5）。なお、住所録編集処理についての説明は後述する。住所録編集処理が終了した後は、初期メニュー画面表示処理（S1）へ戻る。

【0024】また、初期メニュー画面101において似顔絵編集アイコン104が指示入力装置6にて指示されると（S6）、似顔絵編集プログラム2-4に基づいて似顔絵編集処理を実行する（S7）。なお、似顔絵編集処理についての説明は、後述する。似顔絵編集処理が終了した後は、初期メニュー画面表示処理（S1）へ戻る。

【0025】その他の指示（通信アイコン105やファンクションキー表示領域106）が指示入力装置6にて指示された場合は、その他の処理を実行し、その後初期メニュー画面表示処理（S1）へ戻る。なお、その他の処理については本発明の要旨に関係しないため説明は省略する。上記の動作を、ワードプロセッサの電源がオフされるまで繰り返す。

【0026】図4は住所録編集処理（S5）の詳細を示したフローチャートである。本フローチャートに示した処理は住所録編集プログラム2-3に従って実現される。最初に図5に示すような住所録メニュー画面111を表示装置7に表示する（S11）。ここでデータ追加入力アイコン112が指示入力装置6にて指示されると（S12）、図6に示すようなデータ入力画面121を表示する。

【0027】データ入力画面121には、データ入力ダイアログボックス122及びレイアウト表示ウインドウ123が表示される。指示入力装置6から入力された個人情報データ（住所、氏名、性別、生年月日等）は、個人情報データベース3-1に記憶する（S13）。また、このほかに体重や身長等も入力できるようにしても良い。

【0028】図7は、個人情報データベース3-1のデータ構成を示した図である。データの通し番号（No.）3-1-1、会社の住所か自宅の住所かを指定する宛先3-1-2、郵便番号3-1-3、住所3-1-4、氏名3-1-5、氏名の読み3-1-6、性別3-1-7、生年月日3-1-8、備考3-1-9を記憶することができる。また、このほかに体重や身長等も記憶できるようにしても良い。個人情報データの入力が完了した後は、住所録メニュー表示処理（S11）へ戻る（S14）。

【0029】また、住所録メニュー画面111においてデータ修正アイコン113が指示入力装置6にて指示されると（S15）、個人情報データベース3-1に記憶されている個人情報データの一覧を表示し、その中から選択された（S16）データの修正を行う（S17）。データの修正は、データ入力画面121と同様の画面で行う。個人情報データの修正が完了した後は、住所録メニュー表示処理（S11）へ戻る（S18）。

【0030】また、住所録メニュー画面111において印刷アイコン114が指示入力装置6にて指示されると（S19）、個人情報データベース3-1に記憶されている個人情報データを元に、一覧表形式での印刷や、はがきの宛名形式での印刷等を行い（S20）、その後、住所録メニュー表示処理（S11）へ戻る。なお、印刷処理は本発明の要旨に関係しないため説明は省略する。

【0031】また、住所録メニュー画面111において終了アイコン115が指示入力装置6にて指示された場合は、住所録編集処理（S5）を終了し、初期メニュー画面表示処理（S1）へ戻る（S21）。

【0032】図8は似顔絵編集処理（S7）の詳細を示したフローチャートである。本フローチャートに示した処理は似顔絵編集プログラム2-4に従って実現される。最初に図9に示すような似顔絵編集画面131を表示装置7に表示する（S31）。似顔絵編集画面131には、画像入力アイコン132、画像編集アイコン13

50

3、似顔絵作成アイコン134、終了指示アイコン135、画像表示領域136等が表示される。

【0033】画像表示領域136には、画像データ記憶領域3-5に記憶されている画像データ（ビットマップデータ）が表示される。ここで画像入力アイコン132が指示入力装置6にて指示されると（S32）、画像入力プログラム2-4-1に基づいて、画像入力装置8（スキャナやビデオキャプチャなど）から画像データを入力して画像データ記憶領域3-5に記憶し（S33）、似顔絵編集画面表示処理（S31）へ戻って画像表示領域136に画像を表示する。

【0034】図10は、画像データ入力後の似顔絵編集画面131を示した図である。画像表示領域136には画像データ記憶領域3-5に記憶された、ビットマップ画像データが表示されている。また似顔絵編集画面131において、画像編集アイコン133が指示入力装置6にて指示されると（S34）、画像編集処理へと移行する（S35）。画像編集処理では、例えば画像の拡大、縮小やトリミング、輪郭強調等の処理を行うことができる。なお、画像編集処理については周知の技術であるため、詳細な説明は省略する。画像編集処理が完了した後は、似顔絵編集画面表示処理（S31）へ戻る。

【0035】また似顔絵編集画面131において、似顔絵作成アイコン134が指示入力装置6にて指示されると（S36）、似顔絵作成処理へと移行する（S37）。似顔絵作成処理の詳細な説明は後述する。似顔絵作成処理が完了した後、また似顔絵編集画面131において終了指示アイコン135が指示入力装置6にて指示された場合（S38でYES）は、似顔絵編集処理を終了し、初期メニュー画面表示処理（S1）へ戻る。

【0036】図11及び図12は似顔絵作成処理（S37）の詳細を示したフローチャートである。本フローチャートに示した処理は似顔絵編集プログラム2-4に従って実現される。

【0037】まず個人情報取得プログラム2-4-2に基づいて、図13に示すように似顔絵編集画面131上に、個人情報選択ダイアログボックス137を表示し、ユーザにその中から所望する一人を指示入力装置6によって選択させる（S41）。なお、個人情報選択ダイアログボックス137には、個人情報データベース3-1に記憶されている個人情報（図7参照）の内の一部（住所等を除いたデータ）が表示される。選択された人の個人情報（性別、生年月日、身長、体重等）は個人情報記憶領域3-7に記憶される。

【0038】次に年齢計算プログラム2-4-3に基づいて、個人情報記憶領域3-7に記憶された個人情報の中の生年月日データと、計時装置9から入力した今日の日付とから年齢を計算する（S42）。

【0039】なお、個人情報データベース3-1に記憶されていない人の似顔絵を作成したい場合、上記処理

（S41、S42）とは別に、単に性別と年齢（及び身長、体重）を指示入力装置6から入力させる処理を行うようにすると良い。

【0040】次に似顔絵生成プログラム2-4-4に基づいて、画像データ記憶領域3-5に記憶されている画像データ、個人情報記憶領域3-7に記憶されている個人データ（性別、身長、体重）、S42で計算された年齢を参考にして似顔絵部品データベース3-2から適切な似顔絵部品データを選択し、適切な位置に貼り付けることによって、似顔絵データを生成する（S43）。生成された似顔絵データは似顔絵データ記憶領域3-6に記憶される。

【0041】なお、上記似顔絵生成処理技術は、特開平6-187410号公報等に記載されているため、詳細な説明は省略する（なお、身長や体重によって顔の輪郭や頬の凹凸などを決定するようにも良い）。次に似顔絵データ記憶領域3-6に記憶された似顔絵データを表示装置7に表示する（S44）。

【0042】図14は、似顔絵データを表示した後の似顔絵編集画面131を示した図である。図14において、138は生成された似顔絵を表示している似顔絵表示領域である。139は似顔絵生成プログラム2-4-4によって生成された似顔絵の各部品を、ユーザが指定した似顔絵部品に変更するための似顔絵部品選択領域である。図14では、目部品選択タグ139-1が選択されている。

【0043】106-1乃至106-4は似顔絵の生成条件（年齢、性別）を変更して再度似顔絵生成処理（S43）を実行させるためのファンクションキー表示領域、106-5は季節を選択させるためのファンクションキー表示領域である。季節を選択することによって、似顔絵に服や帽子等の装飾部品を追加させる際に、その選択肢を絞り込むことができる。

【0044】140は後に説明する、選択された季節を表示するための季節表示領域である。図14では、まだ季節が選択されていないため、「指定なし」と表示されている。なお、計時装置9から今日の日付を取得し、それに応じた季節を自動的に選択して表示するようにしても良い。

【0045】また106-6は生成された似顔絵を図示しないプリンタ装置で印刷させるための印刷指示ファンクションキー表示領域、106-7は似顔絵作成処理を終了させるための終了指示ファンクションキー表示領域である。

【0046】似顔絵部品選択領域139が指示入力装置6にて指示された場合（S45）、似顔絵データ記憶領域3-6に記憶されている対応する似顔絵部品を、指定された似顔絵部品に変更する（S46）。その後S44に戻り、変更された似顔絵データを似顔絵表示領域138に表示する。なお、後述する服装部品、帽子部品、メ

ガネ部品が指定された場合、似顔絵データにその指示された部品を追加する処理を行う。

【0047】個人情報変更ファンクションキー表示領域106-1が指示入力装置6にて指示された場合(S47)、図13に示したような個人情報選択ダイアログボックス137を表示し、ユーザに選択させる(S48)。その後S42に戻り、変更された個人情報(性別)および計算された年齢を参考にして、再度似顔絵を生成、表示する。

【0048】年齢加算ファンクションキー表示領域106-2が指示入力装置6にて指示された場合(S49)、S42で計算された年齢に所定の数(例えば5等)を加算後、S43へ戻って再度似顔絵を生成、表示する。図15は図14の状態から年齢加算ファンクションキー表示領域106-2を押した後の似顔絵編集画面131の状態、図16は図15の状態から更に年齢加算ファンクションキー表示領域106-2を押した後の似顔絵編集画面131の状態を示している。年齢を加算するごとにしづの数が増え、髪の毛の量が減って行く(生え際が後退する)等の変化が起こる。また、白髪の量を増やすようにしても良い。

【0049】年齢減算ファンクションキー表示領域106-3が指示入力装置6にて指示された場合(S51)、S42で計算された年齢から所定の数(例えば5等)を減算後、S43へ戻って再度似顔絵を生成、表示する。年齢を減算させた場合は図16→図15→図14のように変化する。

【0050】年齢入力ファンクションキー表示領域106-4が指示入力装置6にて指示された場合(S53)、図17に示すように年齢入力ダイアログボックス141を表示し、指示入力装置6から年齢を入力させる。その後S43へ戻って再度似顔絵を生成、表示する。

【0051】季節選択ファンクションキー表示領域106-5が指示入力装置6にて指示された場合(S55)、図18に示すように季節選択ダイアログボックス142を表示し、指示入力装置6から季節あるいはイベントを選択させる(S56)。ここで季節あるいはイベントを選択しておくと、以降に似顔絵部品選択領域139内の服装部品選択タグ139-2や帽子部品選択タグ139-3(図19参照)を指示したときにその選択肢を絞り込むことができる(S57)。

【0052】例えば季節を「冬」に指定した場合、似顔絵部品選択領域139の服装部品選択タグ139-2を指定すると、冬服のみが一覧表示される。なお、この機能を実現するために、装飾部品データベース3-3内の各服装部品データや帽子データにそれぞれ季節やイベント等の属性を予め持たせておくものとする。

【0053】図19は季節を夏に指定し、服装部品選択タグ139-2が選択された様子を示した図である。似

顔絵部品選択領域139には夏の服装部品のみが一覧表示されている。ここで、表示されている服装部品の内の1つが指示入力装置6にて指示されると、図20に示すように似顔絵表示領域138に表示されている似顔絵画像に、選択された服装部品を組み合わせて表示する。帽子部品を指定した場合も同様に、帽子部品を似顔絵画像に組み合わせて表示する。

【0054】印刷指示ファンクションキー表示領域106-6が指示入力装置6にて指示された場合(S58)、図示しないプリンタ装置で似顔絵画像を印刷する(S59)。終了指示ファンクションキー表示領域106-7が指示入力装置6にて指示された場合(S60でYES)は、似顔絵作成編集処理(S37)を終了し、初期メニュー画面表示処理(S1)へ戻る。

【0055】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によると、所望の人物の似顔絵を作成するに際し、他のアプリケーションソフトで使用するデータベースから、性別、年齢等の情報を入手して使用することにより、各パラメータの設定と似顔絵部品の選定が自動化され、目的の似顔絵をより簡単に、かつ迅速に作成することができる。

【0056】また、年齢、性別および日付等のパラメータが他のアプリケーションから、入手できない場合、あるいは変更したい場合、それぞれのパラメータを入力、あるいは変更し、修正することができる。

【0057】また、似顔絵作成後にも年齢等のパラメータの設定値の変更により、「しづ」等の付加データの増減や、「白髪」の増減か、または「髪の生え際」の後退等で、より所望の人物に近い似顔絵を作成することができる。

【0058】また、似顔絵作成後、季節(春夏秋冬)及びイベント(正月/クリスマス等)の指定により、服装(体のパーツ)や帽子等の選択肢の絞り込みが可能であり、容易に多様な似顔絵が作成できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の似顔絵作成装置を組み込んだワードプロセッサの構成を示すブロック図である。

【図2】ワードプロセッサの処理を示すメインフローチャートである。

【図3】ワードプロセッサの初期メニュー画面の表示例を示す図である。

【図4】住所録編集処理の詳細フローチャートである。

【図5】住所録メニュー画面の表示例を示す図である。

【図6】住所録データ入力画面の表示例を示す図である。

【図7】個人情報データベースの構成を説明するための図である。

【図8】似顔絵編集処理画面の詳細フローチャートである。

【図9】似顔絵編集画面の表示例を示す図である。

表示例を示す図である。

【図17】年齢入力画面の表示例を示す図である。

【図18】季節選択画面の表示例を示す図である。

【図19】季節選択後の服装選択画面の表示例を示す図である。

【図20】似顔絵に服装を貼り付けた後の表示例を示す図である。

【符号の説明】

1…CPU、2…プログラムメモリ、3…データメモリ、4…外部記憶装置、5…通信装置、6…指示入力装置、7…表示装置、8…画像入力装置、9…計時装置。

11
【図10】画像データ入力後の似顔絵編集画面の表示例を示す図である。

【図11】似顔絵作成処理の詳細フローチャートである。

【図12】似顔絵作成処理の詳細フローチャート(続き)である。

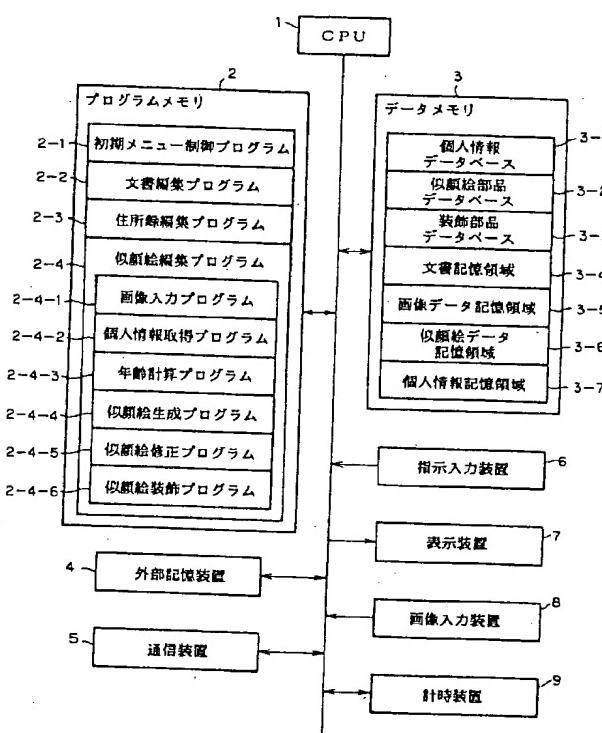
【図13】個人情報選択画面の表示例を示す図である。

【図14】似顔絵作成後の似顔絵編集画面の表示例を示す図である。

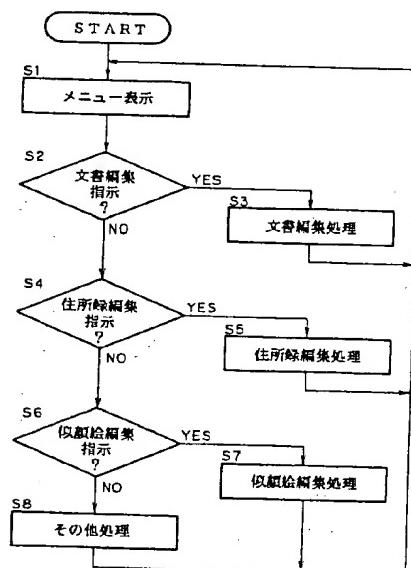
【図15】年齢を増加させた後の似顔絵編集画面の表示例を示す図である。

【図16】年齢を更に増加させた後の似顔絵編集画面の表示例を示す図である。

【図1】

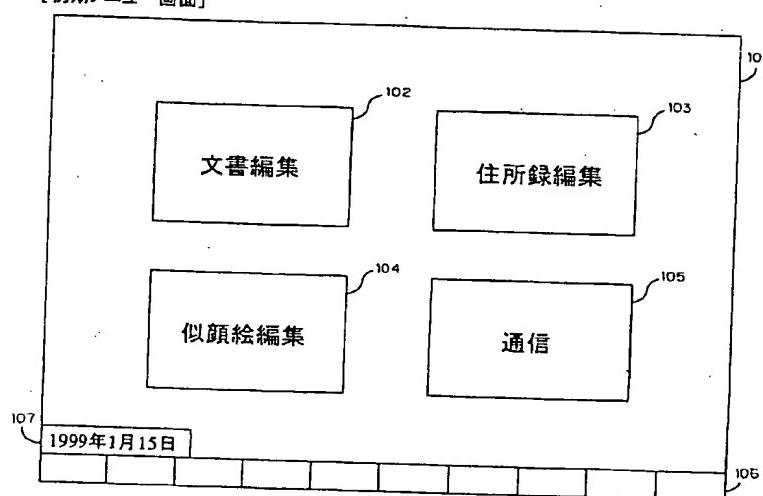


【図2】



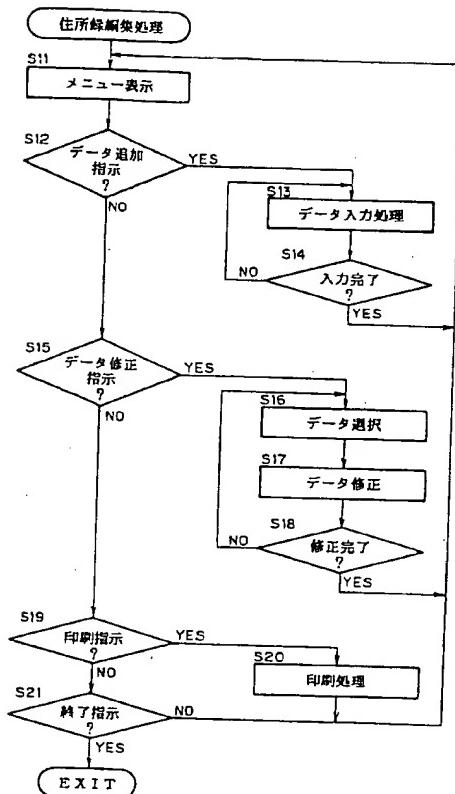
【図3】

[初期メニュー画面]

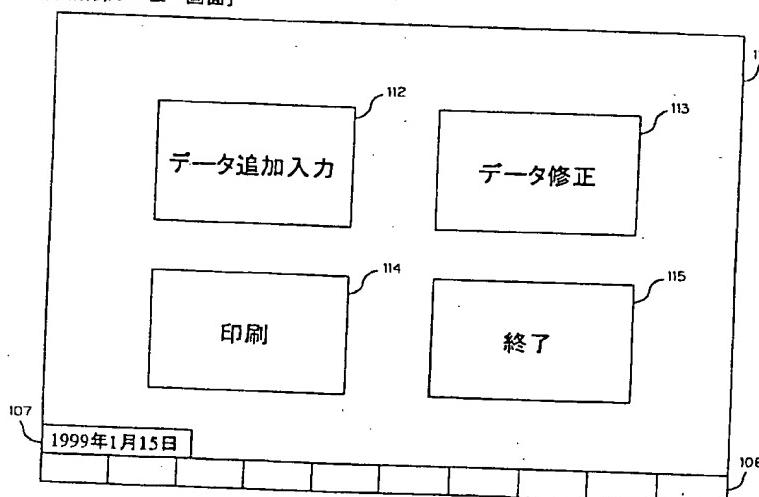


【図5】

【図4】



[住所録メニュー画面]



【図6】

[データ入力画面]

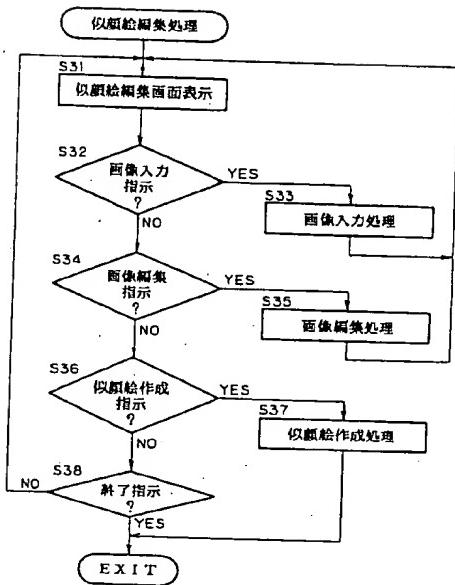
宛名作成	
宛先	: ○自宅 会社
郵便番号	: [545-8522]
住所	: [大阪市阿倍野区長池町22番22号] : [] : []
氏名	: [書院太郎]
読み	: [しょいんたろう]
性別	: ○男性 女性
生年月日	: [1945]年[12]月[13]日
備考	: []

107 1999年1月15日 106

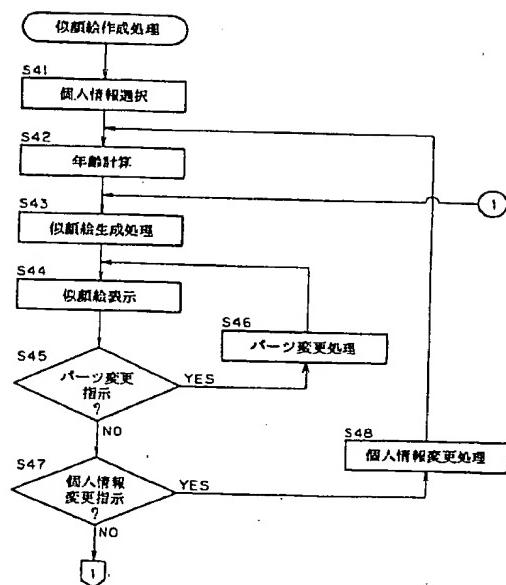
【図7】

No.	宛先	郵便番号	住所	氏名	読み	性別	生年月日	備考
1	自宅	639-1186	奈良県大和郡山市美濃庄町492番地	沢田一郎	さわだいちろう	男性	1985年8月8日	
2	会社	832-8567	奈良県天理市櫻本町2613番地の1	島田花子	しまだはなこ	女性	1970年10月10日	
3	自宅	545-8522	大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号	書院太郎	しょいんたろう	男性	1945年12月13日	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								

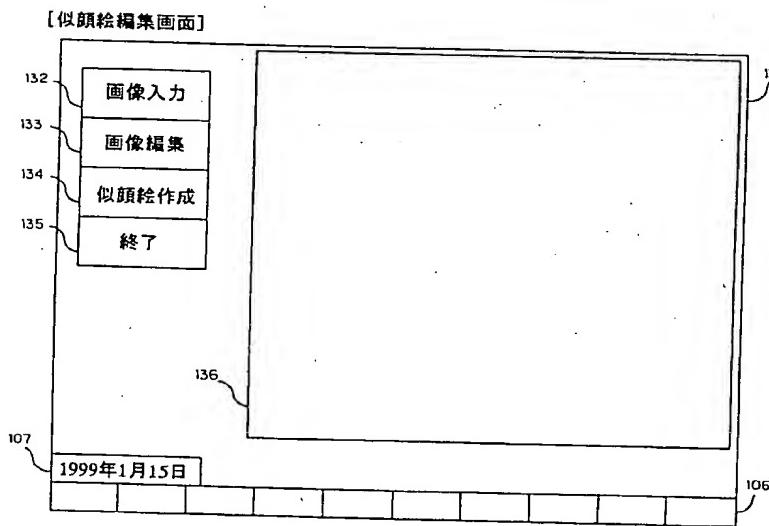
【図8】



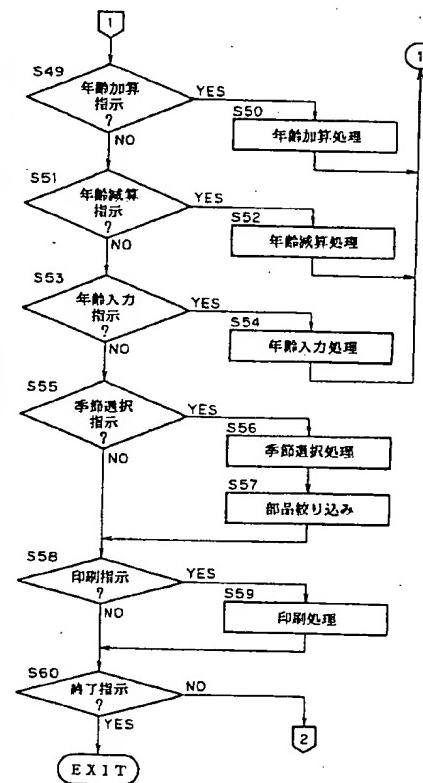
【図11】



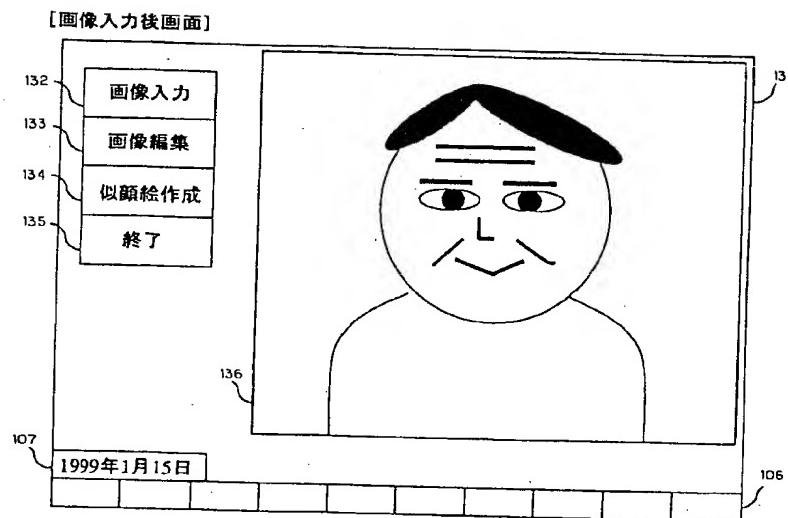
【図9】



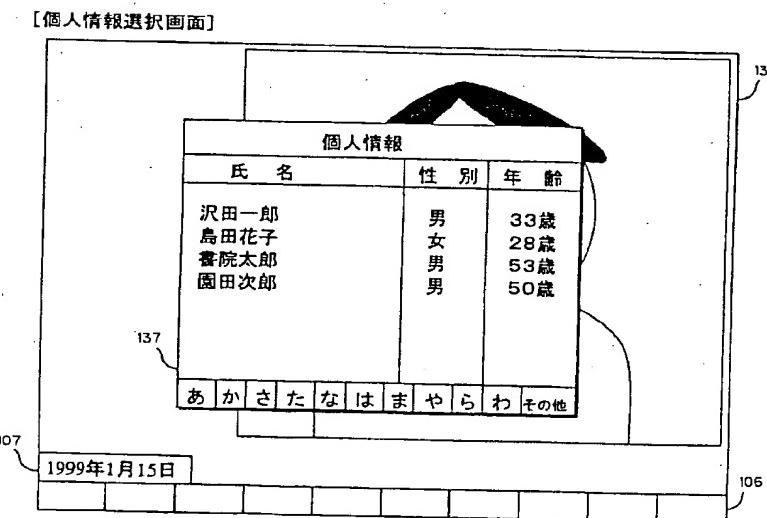
【図12】



【図10】

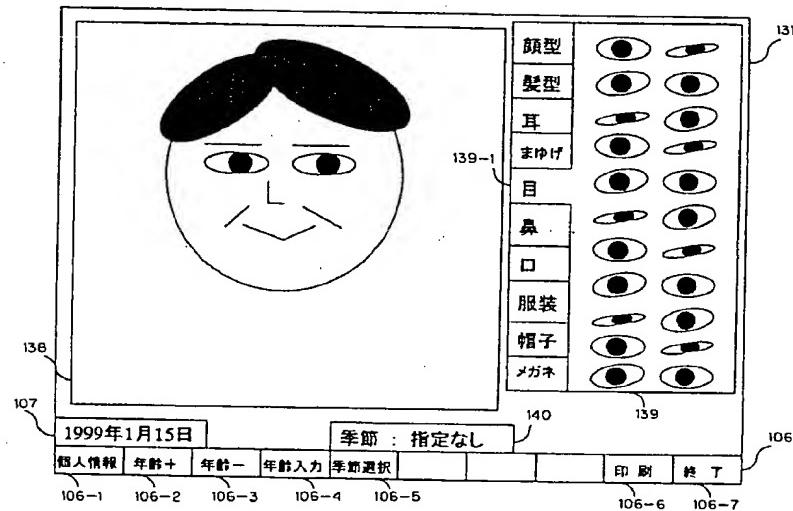


【図13】



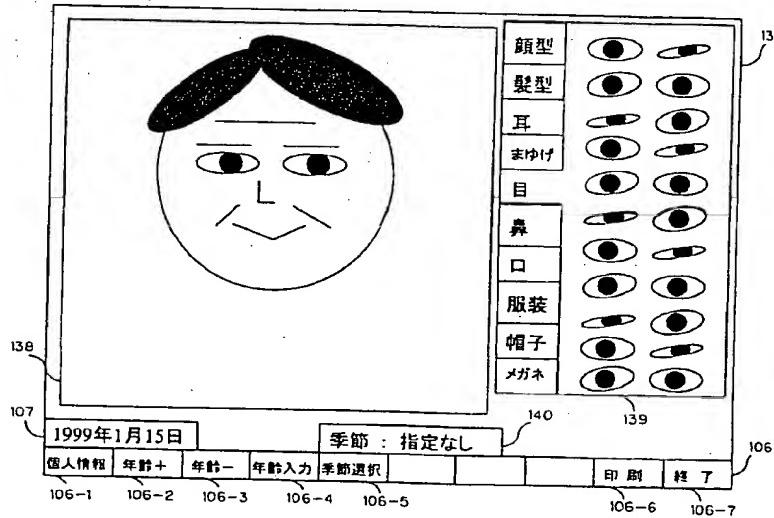
【図14】

[似顔絵生成／修正画面]



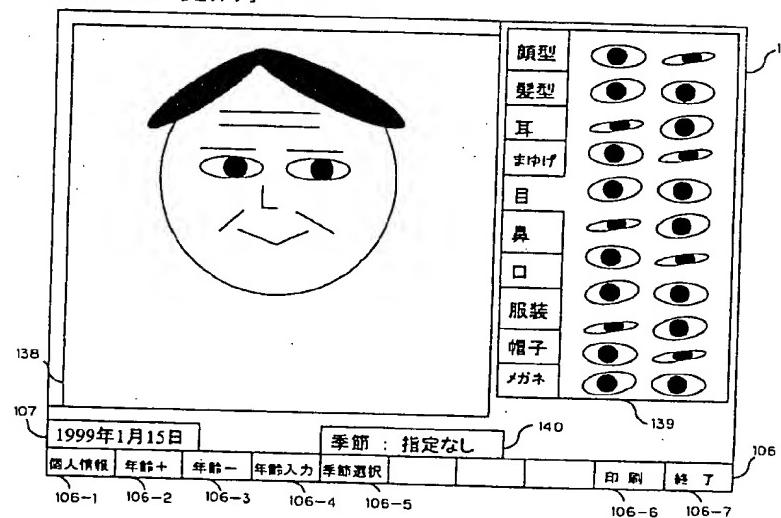
【図15】

[「年齢+」を押す]



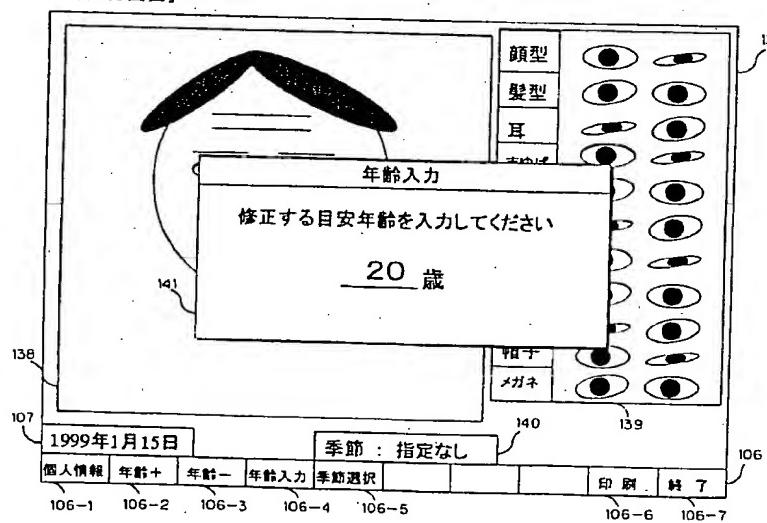
【図16】

[さらに「年齢+」を押す]



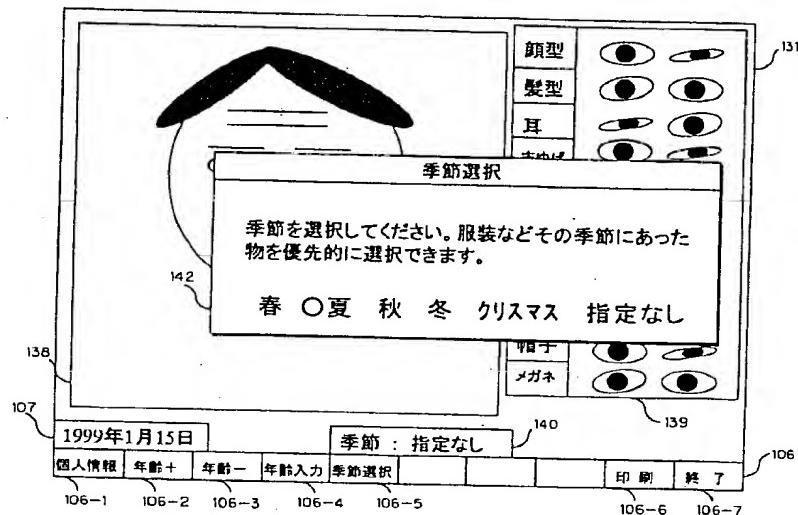
【図17】

[年齢入力画面]



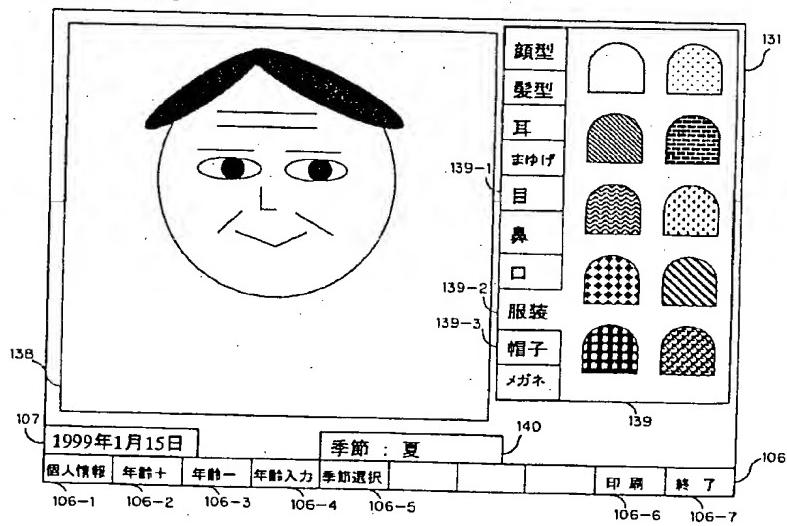
【図18】

[季節選択画面]



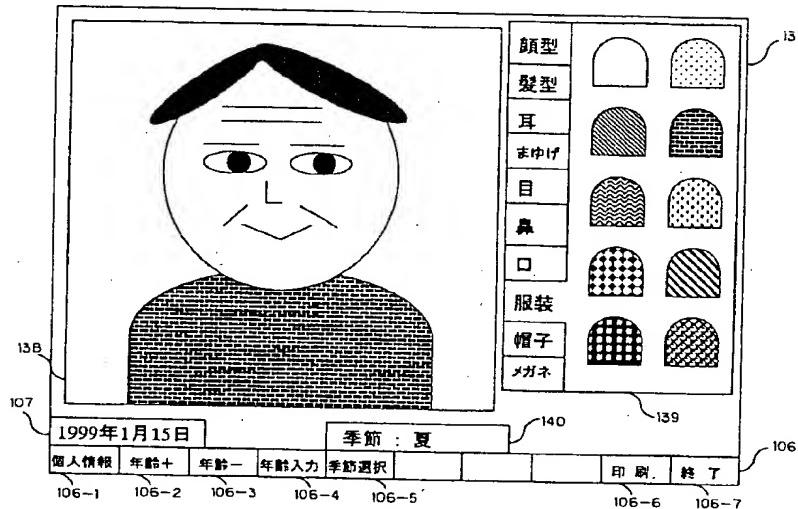
【図19】

[服装選択画面]



【図20】

[服装貼り付け画面]



フロントページの続き

(72) 発明者 渡部 校
 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ
 ャープ株式会社内

Fターム(参考) 5B050 AA09 BA06 BA08 BA12 DA01
 EA19 FA02 FA08
 5B057 AA20 CA12 CA16 CB12 CB16
 CC03 CE08 CE20
 5B075 ND06 NS10 PP02 PP03 PP13
 PQ02
 5E501 AA02 AC15 AC34 BA03 BA14
 CA03 CA04 CB02 CB06 CB09
 DA15 EA05 EA11 EB05 FA14
 FA43